

# 1

## お使いになる前に

特長.....	26
セットの確認.....	28
各部の名称.....	29
電話機.....	29
液晶ディスプレイの見方 (ソフトキー、アイコン).....	31
準備.....	35
電池パックをセットする・交換する.....	35
電池パックの寿命.....	37
電池の使用時間の目安.....	38
電話機を充電する.....	39
電源を入れる.....	42
電池残量を確認する.....	43
自局番号を確認する.....	44
認証情報を表示する.....	45
時計を設定する.....	46

# 特長

お使いになる前に

1  
基本  
操作編

特長

## 事業所コードレスシステムモード

事業所コードレスシステム機器に接続すれば携帯型の内線電話機としてお使い頂けます。会社内で持ち歩けば、内線通話や外線通話がいつでもどこでもつながります。なかなか自分の席に戻れない人に最適です。(→P56)

## 最大1000件の電話帳

最大1000件の電話帳を登録できます。また、1件につき、3つまでの電話番号を登録できます。(→P100)

## 公衆サービス

公衆サービスに加入されますと、本電話機を外に持ち出して利用することができます。リモートロック、Air発信、着信拒否機能に対応しています。  
※必ず公衆サービスへの加入が必要です。(→P50)

## 接続先変更

屋内/公衆デュアルモードで発信する際、保留ボタンを長押し(2秒以上)することで、接続先のモードを簡単に変更することができます。(→P52)

## 移動中でも途切れにくい

移動時などは条件のよいアンテナを通話中に検索することによって、アンテナ切替えの時間が短くなりました。  
※電波状態によっては通話が途切れる場合があります。

## 「混み合っています」表示

発信時に近くのアンテナの回線がすべて使用中でつながらないとき、「混み合っています」と表示します。意味も無くつながらないというイライラがありません。  
※事業所コードレスシステムでご利用の場合のみ表示します。

## 発信番号付加

発信する際、サブメニューキーを押すことで、表示している電話番号の先頭に外線発信用の「0」などの特別番号を組み合わせることで発信することができます。(→P165)

## 同時に2つのモードの待ち受けが可能 (デュアルモード)

2つのモードで待ち受けことができ、どちらのモードでも電波が届いていれば受信可能です。本電話機1つで内線電話機としてもPHSとしてもお使い頂けます。(→P51)

#### 電話帳編集ソフトウェア対応

パソコンからの操作で電話機に新たなデータを登録したり電話帳の内容を簡単に変更することができます。パソコンには、USBで接続します。

※ 詳細は販売店にお問い合わせください。

#### 新デザイン&操作性改善

コンパクトなボディに大きくて見やすいカラー液晶画面を搭載。また、ソフトキーの機能改善により、使いたい機能をすぐに利用できます。

#### 防水・防塵対応 (IP55 / IP57)

埃の多い現場での利用や、思わぬ水濡れにも安心なIP55 / IP57の防水・防塵に対応していますので、安心して利用できます。

#### シンプルメール対応

構内にて本電話機の間でテキストメッセージをやりとりできます。また、メッセージ送信システムを利用して、複数の本電話機へメッセージを同報できます。(→P128)

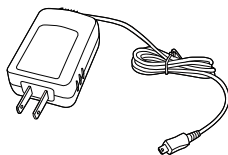
# セットの確認

お使いになる前に

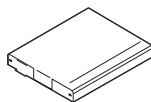
はじめに、セット内容を確認してください。  
セットに足りないものがあった場合は、販売店等へご連絡ください。



電話機×1



ACアダプタ×1



電池パック×1

1  
基本  
操作編

セットの確認



早分かりガイド×1

# 各部の名称

## ◆ 電話機

### 前面

受話口

着信/充電ランプ(→P30)

機能キー

上下左右を押すと機能メニュー  
を選択します。  
中央を押すと表示中の項目の  
確定や機能を実行します。

液晶ディスプレイ(→P31)

フレキシブルキー  
(F1キー、F2キー)

任意に設定したダイヤル情報で  
発信するときに使います。  
ソフトキーを選択するときに使  
います。

電話帳ボタン

電話帳を表示します。

保留ボタン

通話を保留にするときや、事業  
所コードレスシステムモード  
で転送をするときに使います。

クリアボタン

画面の文字を消すときに利用し  
ます。  
直前の画面に戻る時に使います。

通話ボタン

電話をかけたり受けたりします。

電源/切ボタン

電源の入/切や、電話を切ると  
き、操作を中止するときなどに  
使います。

留守録/ドライブボタン

留守録/ドライブを有効にした  
り、解除するときに使います。

ダイヤルボタン

電話番号をダイヤルしたり、文  
字を入力します。

マナーボタン

マナーモードを有効にした  
り解除するときに使います。

送話口(マイク)

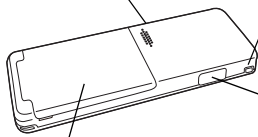


背面 / 側面 / 底面

アラーム口

着信音、警告音などの音が鳴ります。

ハンドストラップ取り付け穴



電池カバー(→P35)

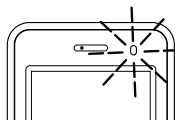
USB端子

ACアダプタやUSBケーブル、イヤホンマイク(別売)を差し込んで利用します。

マイクロUSBの規格に準拠したイヤホンマイクでは、イヤホンマイクの操作で応答、切断が可能です。対応の可否はイヤホンマイクの仕様によるため、イヤホンマイクの仕様を確認の上、使用してください。

ランプ表示

着信 / 充電ランプ



ランプ	ランプのつき方	電話機の状態
着信時	点滅(緑)	電話がかかってきたとき
充電時	点灯(赤)	充電中のとき
	点灯(赤→消灯)	充電が終了したとき



フоновент

- 着信時の点滅は、赤、緑、オレンジに変更できます。
- 不在着信あり、メール着信あり、アラームがあると緑点滅になります。

## ◆ 液晶ディスプレイの見方(ソフトキー、アイコン) ～こんなときに表示されます～



①	電池残量(→P43)
②↑(圏内)	電波が届いている場所にいるとき(→P61)
③	電波レベル
④	電波レベル
⑤	電波レベル
⑤OS1、TRSなど	事業所コードレスシステムモード、トランシーバモードのとき(→P50) デュアルモードのときは、表示されているモードが優先となります。また、自局番号を非表示とすることもできます。
⑥	その他の表示部分
⑦	ソフトキー

## ～ソフトキー～

OS(事業所コードレスシステムモード)で利用できる機能が表示されます。機能キーを上下左右に押して機能を選択します。

表示されるメニューは、登録しているPBXの機種や待受時/通話中などの条件によって異なります。また、PBX側での設定が必要なため、設定方法については工事・保守者にお問い合わせください。

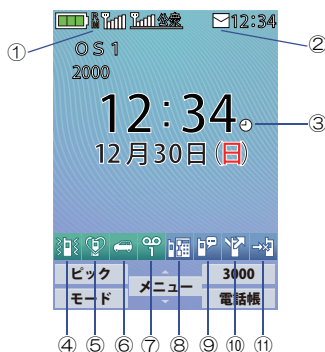
画面の一例



メニュー	機能メニューの選択画面を呼び出す(→P34)
聞き取り	VoiceMail(通話録音装置の音声メッセージ)を聞く
通話録音	通話録音をする
録音転送	すべての着信を通話録音装置へ転送する
不在転送	すべての着信を転送する
話中転送	通話中の着信を転送する
圏外転送	圏外または電源OFF時の着信を転送する
不応答転	一定時間不応答の着信を転送する
転先不在	離席時に移動先の電話機から転送設定ができる
キャンプ	呼び出し先が通話中のとき通話が終わり次第呼び出しがある
会議	通話中に他者を呼び出し三者通話を行う
着信拒否	着信を規制する
割込拒否	割込通話を規制する
割り込み	通話中の内線に接続する
ウェイト	相手通話中に割り込み音を送る
ピック	グループ内の他の番号への着信に応答する
シェア	本電話機と多機能電話機が1つの電話番号を使用する
パーク	保留した通話に別の電話機から応答する
客室状態	客室状態を設定する
発信制限	発信を制限する
着信制限	着信を制限する



～表示されるアイコンの意味～



①		ローミング機能を利用している(→P124)
②		シンプルメールが届いている
③		アラームを設定している(→P139)
④		着信がバイブレータになっている(→P85)
		着信がサイレントになっている(→P80)
⑤		「マナーモード」を設定している(→P81)
⑥		ドライブモードを設定している(→P142)
⑦		留守録を設定中
⑧		ワンナンバシエアリングを設定している
⑨		VoiceMail(通話録音装置から音声メッセージ)が届いている(→P120-123)
⑩		OSで転送(不在転送、録音転送)を設定している
⑪		OSで着信拒否を設定している

## ～機能メニュー～

機能キーの[メニュー]を選択すると、以下のメインメニューが表示されます。

### 待受時



### 通話時



ソフトキーが表示されていないときは、機能キーの中央を押すとメインメニューが表示されます。

### メインメニュー(待受時)

① メール	メール機能(→P128)
② 音/バイブレータ	着信音や着信音量の設定(→P78)
③ 電話帳	電話帳の参照や登録(→P100)
④ 時計/アラーム	時計の設定やアラーム(→P139)
⑤ 留守録/ドライブ	留守録の録音・設定(→P142)
⑥ 各種設定	画面、Fキーなどの設定(→P147)
⑦ セキュリティ	パスワードロックやキーロックの設定(→P163)
⑧ 認証情報表示	認証情報の表示(→P45)

### 通話メニュー(通話時)


① 受話音量	受話音量の設定(→P75)
② 発信履歴	発信履歴の参照(→P72)
③ 着信履歴	着信履歴の参照(→P72)
④ 電話帳	電話帳の参照や登録(→P100)
⑤ 送信フォルダ	送信メールの確認(→P133)
⑥ 受信フォルダ	受信メールの確認(→P131)

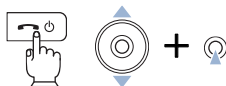


- 機能メニューは、メニューの左に表示されている数字を直接入力することでも選択できます。

# 準備

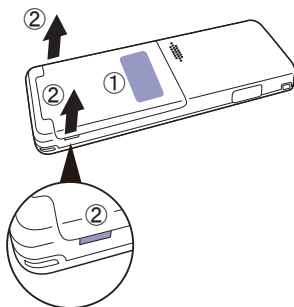
## ◆ 電池パックをセットする・交換する

- 1 (交換時のみ)電源を切るときは、 ボタンを押し続けると「シャットダウンしますか?」と表示されるので「YES」を選択します。

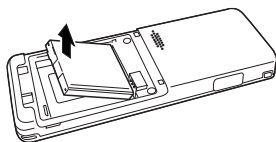


- 2 電池カバーを取り外します。

①部分に指を添えて、②部分に指先をかけてリアカバーを矢印の方向に持ち上げます。



- 3 (交換時のみ)電池パックを取り出します。

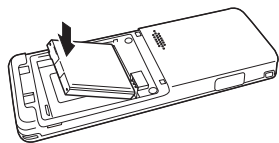


お願い

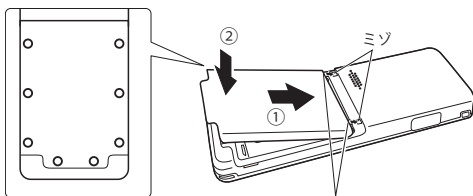
- 電池カバー、USB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

## 4 電池パックを入れます。

接続コネクタの向きに注意してしっかり押し込みます。



## 5 電池カバーを取り付けます。



○部分をしっかりと押し、  
本電話機とすきまがないことを  
確認してください。

リアカバーの  
ツメを本電話機の  
ミソに差し込む

### 1

基本  
操作編

準備



お願い

- 電池パックは、必ず電源を切ってからセットしてください。電源を切らないで電池パックを取り外すと、電話帳データなどの情報が損なわれますのでご注意ください。
- 長時間ご使用にならない時は、充電してから電池パックを取り外して保管してください。
- ご使用にならない場合でも、3か月に1回は必ず充電してください。
- 電池パックを取り出すと時計設定が消えてしまいます。再度時計を設定してください。

## ◆電池パックの寿命

電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。

また、充電後もACアダプタや充電台に接続したままの場合、充電と放電を繰り返し、電池の消耗が早まります。電池の消耗に伴い電池パックが膨らむ場合がありますが、これはリチウムイオン電池の特性です。誤った使用をされない限り安全上に問題はありますが、電池は消耗しているため、早期に交換をしてください。

1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。(電池パックの寿命の目安は、約1年です。)



密閉型蓄電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion

## ◎電池パック不要時の処理方法

- (1) リチウムイオンはリサイクル可能な貴重な資源です。
- (2) 交換後不要になった電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、当社営業担当者または販売店へご連絡いただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。



### ● 電池パックについて

電池パックの取り扱いには、次の点にご注意ください。

- 本電話機専用の電池パックと充電台を使用してください。
- 火の中に投入したり加熱しないでください。火のそばや、炎天下等の高温になる場所での使用、充電、放置は避けてください。
- プラス(+)、マイナス(-)を逆にしたり、針金等の金属で接続しないでください。
- また、金属製のネックレスやヘアピン等と、一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたりしないでください。
- ハンダ付けや分解、改造はしないでください。

## ◆ 電池の使用時間の目安

条件		使用可能時間
モード	連続	
事業所コードレスシステムモード	待受	約500時間
	通話	約6時間
公衆モード	待受	約500時間
	通話	約6時間
屋内/公衆デュアルモード	待受	約340時間
	通話	約6時間

(電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。)

### ※ 連続通話時間

充電完了後、ずっと通話だけを行った場合に使用可能な時間の目安です。

### ※ 連続待受時間

充電完了後、一度も通話や操作をせずに、連続して待受状態を保つことが可能な時間の目安です。

- ・電波の届かない場所、電波の弱い場所での待受は電池の消耗が多いため、連続待受時間が短くなります。



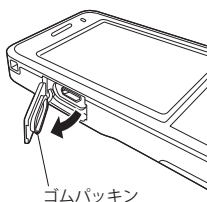
ポイント


- 電池の使用可能時間は、電波が安定した状態で算出した弊社計算値です。電波の弱い場所での通話や電波の届かない場所での待ち受けは電池の消耗が多いため、表中の時間より短くなります。
- 充電のしかたや電池の劣化度、使用環境によって、表中の時間は変化します。
- 実際にご利用になれる時間は、待受時間と通話時間の組み合わせになりますので、着信があったり、通話時間や移動距離が長い場合は短くなります。

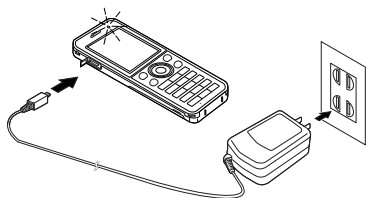
## ◆ 電話機を充電する

### ACアダプタで直接充電する


- 1 USB端子カバーを外します。



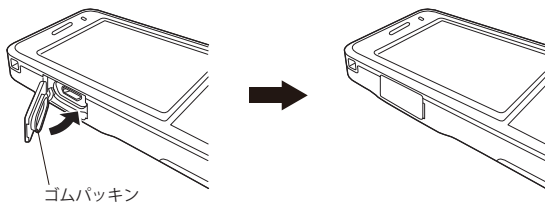
- 2 ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と電話機に差し込みます。  
電話機に正しく差し込まれると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が表示されます。  
はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安
約180分

充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の表示が通常の表示に変わります。

- 3 充電が完了したら、USB端子カバーを取り付けます。  
キャップ周辺部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、きっちりと閉じてください。



1. キャップを押し込みます。

2. きっちり閉まったことを確認します。

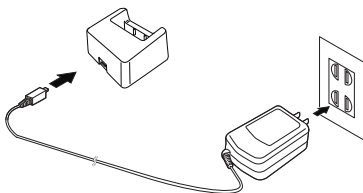


- 電池パックが空になった状態から長時間放電した後など、電池パックの残量がまったくない状態から充電する場合、充電を行っても充電ランプが点灯するまでに3分程度かかることがあります。
- 充電を開始してから30分経っても充電ランプが点灯しない場合は、電池パックを交換してください。




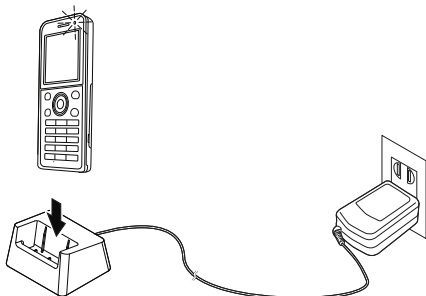
## 充電台で充電する

- 1 ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と充電台に差し込みます。




- 2 電話機の向きに注意して充電台に差し込みます。

電話機が充電台に正しく設置されると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が表示されます。  
はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安

約150分

充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の表示が通常が表示に変わります。



重要

- 充電台はオプションのため、別途手配が必要です。手配については、販売店へお問い合わせください。
- 充電中は、充電台や電話機があたたかくなりますが、故障ではありません。
- 電話機や充電台がぬれているときは、乾いた布で水分をふき取ってから充電してください。
- 電話機は、USBケーブルを使用して充電することもできます。




お願い

- 充電台に金属を入れないでください。
- 5～35℃の状態で使用してください。
- 本電話機専用の電池パックと充電台を使用してください。

## ◆ 電源を入れる

1




待受画面が出るまで  を押し続けます。

日付・時刻と電池残量が常時表示されます。(待受画面)


充電するときは、待受画面になったことを確認してから充電してください。




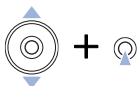
※ お買い上げ時は日付・時刻は設定されていないので「時計機能」を設定してください。(→P46)

※  圏外マークが表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所(圏外)にいます。  
 圏外マークが消え、「」マークが表示される場所(圏内)まで移動してください。



※ 電波が強く「」マークが表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れる場合があります。

電源を切るときは、 ボタンを押し続けると「シャットダウンしますか?」と表示されるので「YES」を選択します。

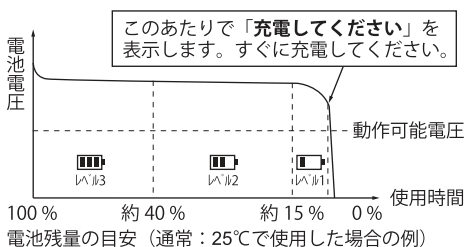



ワンポイント

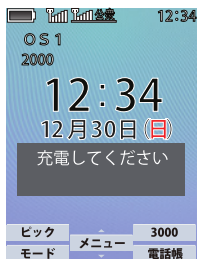
- 着信拒否など PBX 側の機能でアイコン表示がされている場合、着信、発信をしない限りアイコンは表示されません。
- 電源を切るときの確認画面を非表示に設定できます。  
メインメニュー→<6.各種設定>→<1.画面設定>→<5.電源OFF確認画面>

## ◆ 電池残量を確認する

電池残量は、常に画面で確認できます。  
ご使用になる前に、電池残量を確認してください。



電池残量がなくなると、電池切れアラームが10秒ほど鳴り以下の画面が表示されます。電池切れアラームを止めるには  を押します。



通話中の場合はこの画面とともに「ピッピッピッ」という警告音が鳴ります。約20秒後に通話が切れますので、すみやかにお話を終えて、充電してください。  
「充電してください」が表示された数分後に、電源が切れます。



- 電源が切れると時計設定が消えてしまいます。再度時計を設定してください。

## ◆ 自局番号を確認する

お客様の電話番号を確認できます。事業所コードレスシステムモードやトランシーバモードでお使いの場合は、それぞれの番号を確認できます。

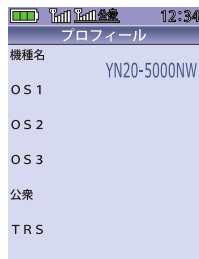
- 1 [メニュー]を選択します。  
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。




- 2 「0」を押します。



- 3 番号を確認します。



- 4  ボタンを押します。  
待受画面に戻ります。



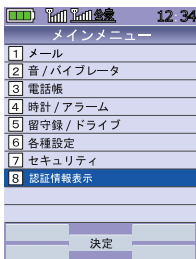
## ◆ 認証情報を確認する

本電話機が適合している認定マークおよび認定番号を確認することができます。

- 1** [メニュー]を選択します。  
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <認証情報表示>を選択します。



- 3** 認証情報を確認します。



- 4** [戻る] ボタンを押します。  
待受画面に戻ります。

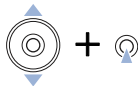


## ◆ 時計を設定する

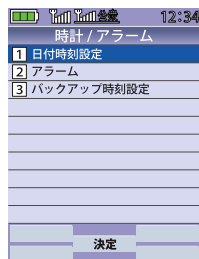
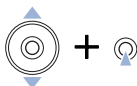
- 1 [メニュー]を選択します。  
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2 <時計/アラーム>を選択します。



- 3 <日付時刻設定>を選択します。



## 4 時刻を設定します。

ダイヤルボタンで入力します。機能キーの左右を押すとカーソルを移動できます。



カーソル



## 5 日付を入力します。

時刻と同様にダイヤルボタンで入力します。




## 6 機能キーの中央を押します。



設定が完了します。  
設定完了時に、0秒から時計が動作します。

7

 ボタンを押します。  
待受画面に戻り、設定した日付時刻が表示されます。



- 電池パックを取り外したり、電池パックの電池残量がなくなると、時計設定が消えてしまいます。再度時計を設定してください。



- 機能メニューは、メニューの左に表示されている数字を直接入力することでも選択できます。
- 選択したメニューから戻るときはクリアボタンを、操作を中止するときは電源/切ボタンを押してください。
- 日付の有効範囲は2013年1月1日～2099年12月31日です。2099年12月31日23:59以降は時計が進みません。
- 時計の精度は、1ヶ月に±60秒程度の誤差があります。(25°C常温の場合)